

指定管理者モニタリングレポート（平成29年度）

作成日 平成30年 6月29日

施 設 名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	
所 在 地	美濃加茂市新池町3丁目4番1号（総合福祉会館内）	
指 定 管 理 者	名 称 社会福祉法人 慈恵会 代表者 理事長 山田 實紘 住 所 美濃加茂市下米田町東栃井81番地2	
指定期間・選定方法	平成28年4月1日～平成33年3月31日	公募・ <u>任意指定</u>
モニタリングの実施方法等	指定管理者が、公の施設の設置目的を理解し、制度運営の透明性を確保しつつ、効果的かつ適正な管理運営を行い、良好なサービスの提供を行っているかを監視・監督し、次年度以降の業務内容等に反映させるために、指定管理者が提出した事業報告書等の資料と実地調査に基づき期末モニタリングを行う。	
担 当 課 (問合せ先)	健康福祉部高齢福祉課 電話0574-25-2111(内線501)	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

介護保険法に基づく居宅要介護者等への通所介護及び高齢者の生きがい活動支援のため設置された美濃加茂市老人デイサービスセンターを、適正かつ円滑に管理し、利用者に対し、適切な通所介護サービスを提供していることが確認できた。

経営分析に関すること

事業収支は16,139千円であり、毎年安定して黒字収支となっている。利用料金比率は100.0%となっており、収入は、利用者の利用料金により賄われている。人件費比率は、80.1%で、支出に占める人件費の割合は比較的高い。

事業計画・実施事業に関すること

管理基本方針、組織・人員体制、個人情報管理、各年度の事業計画を作成され、計画に基づき、適正に事業が実施されている。

経理に関すること

経理は法人本部で処理がされている。また、公認会計士の監査も受けており、適正に執行管理されている。

施設管理に関すること

施設管理について、デイサービスセンター管理者が適正に管理している。
また、市の総合福祉会館との併設施設となっており、電気・水道施設等は、市で施設管理を行っている。
10万円以上の修繕については美濃加茂市、それより少額の細かな修繕については、指定管理者が行うこととしている。

サービスに関すること

利用者一人ひとりのニーズを把握し、居宅サービス計画に基づいた通所介護計画の作成により、個別介護方針を確立し、各利用者にとって、より良い介護サービスの提供に努めている。
年に1度、利用者アンケートを行うとともに、リスクマネジメント委員会や権利を守る委員会を法人として設置し、利用者保護にも努めている。

その他に関すること

介護保険法に基づく職員配置基準を上回る職員数を配置している。また、職員研修についても、積極的に実施されている。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成29年度)

総合評価	B
------	---

実施日 平成30年 6月 29日

担当課 高齢福祉課

対象施設	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	選定方法	公募・任意指定
設置目的	居宅要介護への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	指定期間	平成 28.4.1～平成 33.3.31

総括	B	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	評価
経営分析	事業収支	14,892 千円	19,176 千円	16,741 千円	21,944 千円	16,139 千円	
	利用料金比率	99.7%	100%	100%	100%	100%	A
	人件費比率	76.7%	77.2%	80.1%	80.1%	80.1%	A
	外部委託費比率	—	—	—	—	—	-
	利用者当たりの管理コスト	6,701 円	6,140 円	6,477 円	6,315 円円	6,864 円	A
	利用者当たりの市負担コスト	—	—	—	—	—	-
	施設㎡当たりの利用者数	18.31 人	19.80 人	20.68 人	20.68 人	19.69 人	A

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			B	事業計画に基づき実施された
2 収支計画との整合性はあったか			B	整合性がとれていた
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	守られていた
4 施設職員体制が適正に整えられていたか			A	基準以上に整えられていた
5 公共性・公平性が保たれていたか			A	十分に保たれていた
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	おおむね適正に実施された
7 自主事業は適正に実施されていたか			B	おおむね適正に実施された

経理に関すること	総括	A	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	適正であった
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適正であった
3 支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			A	十分な帳簿が整えられていた
4 帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			A	細かく管理されていた
5 現金は適正に管理されていたか			A	安全に管理されていた

施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	適正に実施された
2	清掃は確実に行われたか			A	清潔に保たれた
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	安全に配慮されていた
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	整えられていた
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	危険のないように片づけられていた
6	備品は適切に管理されていたか			A	適切に管理されていた
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	適切に行われた

サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			B	必要に応じて取り組んでいた
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	おおむね適正に行われた
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	おおむね適正に管理されていた
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	おおむね適正に行われた
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			A	サービス向上に努めている
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	サービス向上にいかされている
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	接客態度に問題はなく、向上に努めた

その他に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	おおむね適正に行われた
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	厳しく管理されている
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	環境に配慮している
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	加入している
5	地域との協働は図られたか			B	おおむね図られた
6	市と連絡を密にしていたか			B	必要に応じて連絡を取っている

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優 良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良 好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総 括	A(優 良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良 好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優 良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良 好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

平成30年6月29日

指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	担当課	高齢福祉課
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	選定方法	公募・任意指定
施設名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	施設の種類	高齢福祉施設
所在地	美濃加茂市新池町3丁目4番1号（総合福祉会館内）		
設置根拠条例等	介護保険法第8条第7項、美濃加茂市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	居宅要介護への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
実施事業	通所介護		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	18, 385. 56 ㎡			駐車場 台数	約150台(総合福祉会館)		
	内借地面積	1, 372 ㎡	契約期間	—		借地料	—	
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間	—		賃借料	—	
	建物の内容	福祉施設(総合福祉会館1階一部)						
	主要な建物の 建築年月	平成6年3月			取得時期	—		
	延床面積	369. 57 ㎡		構造	RC構造		階数	1
	耐震基準	新	耐震診断	不要	耐震補強	不要	Is値	
	バリアフリー化 状況	実施 一部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	大規模修繕実 施状況	未実施						
留意事項	経年により修繕が必要であるが、部品の調達が出来ず取替が必要							

3. 管理・運営の現況

開館日数	294日	休館日	日、祝、12/31～1/3	開館時間	8:30～17:00
職員数等 管理体制	16名 (生活相談員2名、介護職員5名、パート職員4名、看護職員3名、調理員2名)				

4. 施設の維持管理コスト等

市の収支状況	(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	年度	年度	指定管理導入前
	支出	支出総額	46 千円	1,816 千円			
		人件費	—	—			
		維持補修費	—	1,816 千円			
		減価償却費	—	—			
		光熱水費	—	—			
		委託費・指定管理料	—	—			
		賃借料	—	—			
		その他	46 千円	—			
	収入	収入合計	—	—			
		使用料・手数料	—	—			
		その他業務収益	—	—			
		業務関連収益	—	—			
指定管理者の収支状況	(単位:千円)		平成28年度	平成29年度	年度	年度	年度
	支出	支出合計	48,256 千円	49,957 千円			
		人件費	38,657 千円	40,025 千円			
		事業費	5,379 千円	5,409 千円			
		維持補修費	318 千円	571 千円			
		光熱水費	2,203 千円	2,187 千円			
		保守点検費	275 千円	280 千円			
		その他	1,424 千円	1,485 千円			
	収入	収入合計	70,200 千円	66,096 千円			
		指定管理料	—	—			
		利用料金	4,092 千円	3,647 千円			
		自主事業収入	—	—			
		その他	66,108 千円	62,449 千円			

5. 施設の利用状況

		平成28年度		平成29年度		年度	年度	指定管理導入前
開館日数		294 日/年		294 日/年				
利用件数		—		—				
利用者数		7,641 人/年		7,278 人/年				
定員		30 人/日		30 人/日				
部 屋 別 稼 働 率	名称	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター			平日	100%	土日祝	33%
	午前	100%	午後	100%	夜間	—%	計	—%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	通所介護事業	利用者数等	7,278 人
	事業内容	通所事業		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	
コスト面	
利用者数・稼働率	
事業実施状況	
地域との協働等	
その他	